

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	乗用車販売店（管理担当）	・自動車販売は、年間の最大の需要期であるということで、今よりも良くなる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・来街者数、売上もずっと伸びてきており、この先も上向いてくる。
		商店街（代表者）	・冬シーズンの繁忙期を過ぎても、まだ売上が伸びているので、引き続き伸びていく。
		百貨店（売場主任）	・気温が予報どおり低く推移すれば、1月のクリアランスも好調に推移する。顧客の購買意欲は依然として高く、春物も1～3月は堅調に推移する。
		百貨店（営業担当）	・これまでは高額品のみが堅調に推移していたが、買い回り品にまで波及してきた。1月からスタートするセールも含め、富裕層以外の層の需要も盛り上がる。
		百貨店（販売促進担当）	・多少単価が上がっても、デザインや素材、産地等に自分のこだわりを持った商品を吟味して購買する客が多い。逆に安易にセールになびく客は少なくなった。
		百貨店（販売促進担当）	・今月の需要が続けば、上向きになる。
		百貨店（営業企画担当）	・客の志向が良いもの、価値のあるものへとシフトしており、来年度へ向けて期待できる。
		百貨店（売場担当）	・客単価及び一品単価が連続して上がっている。衣料品全般、特に紳士服に回復基調がみられ、ヤングも相変わらず好調である。それに伴い、身の回り品が売れている状況である。単品で絵、宝石、時計などの高額品も売れており、総じて回復基調にある。
		百貨店（業務担当）	・これから冬物衣料等の処分期に入るが、前半にそこそこの動きが出ていただけに期待できる。来客数も大きく落ち込むような状況からは脱した。
		スーパー（店長）	・衣料品は防寒具だけでなく、インポート関係の単価が高いものにも動きが見られた。衣料品がこんなに動いたのは何年か振り、客単価も上昇しており、これから上昇傾向にある。
		スーパー（店長）	・販売商品の単価が全体的に上がっている。手間暇かけて作られたもの、あるいはそこそこ値打ちのあるものには財布のひもが緩んでいる。
		スーパー（店長）	・今後も寒さが続けば、冬物衣料が非常に良く売れ、完売状態になる。
		衣料品専門店（総務担当）	・中級品から高級品への需要が多くなっており、特にブランド品の注文や問い合わせが多くなっている。
		家電量販店（店員）	・今年の冬は冷え込み、暖房器具が売り切れになるほどであった。パソコンに関しても単価の大きいものが売れているので、今後も好調に推移する。
		家電量販店（総務担当）	・消費者の購買欲が高まっており、景気回復を実感している。
		乗用車販売店（経理担当）	・年明けに新型車が2車種ほど出るので、若干景気は上向く。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・灯油の出荷が前年比200～300%となっており、好調に推移している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格が値下げされると予想されるので、消費意欲は高まる。
		高級レストラン（専務）	・愛知万博が終わり、客の流れが戻ってきた。
高級レストラン（スタッフ）	・寒波で客足は遠のいているものの、注文される料理の内容が良く、消費が上向いている。		
旅行代理店（業務担当）	・2月以降の先行受注が、前年比100%を超えて推移している。		
テーマパーク（職員）	・2月は、地元プロ野球球団の春季キャンプやJリーグのキャンプも4チームほど引き合いある。さらに、一般向けの1～3月までプランも1月3日からスタートされる。昨年2月は当社を含めて宮崎市内のホテルが満室であったが、今年も同様の傾向にある。		
ゴルフ場（従業員）	・予約状況として、大きなコンペが少しずつ増えつつある。今までは個人の予約だったが、最近では10組とか1日貸切などの団体が入っている。		

	競輪場（職員）	・発売額の上昇が例年に比べ早いので、今後の伸びに期待できる。
	住宅販売会社（従業員）	・金利が上昇傾向にあるということで、多少の動きは出てくる。
変わらない	商店街（代表者）	・年配向けの店なので、税金関係、保険関係のことで、客はいい顔をしていない。悪天候のときはアーケードのない商店街への客足は少なく、土日はほとんど郊外店舗にとられてしまう。
	百貨店（営業担当）	・12月はクリスマスや歳暮ギフト、年末年始の特需で衣料や子供雑貨などが好調に推移したが、年明けの減税縮減、物価上昇への危機感により、財布の緩みが見られない。
	百貨店（営業担当）	・クリスマスやバーゲンへのモチベーションは高いが、プロパー商品は苦戦をしている。また、12月の重衣料稼働の反動で、年明けのバーゲンは苦戦をする。
	百貨店（売場担当）	・通常1月の下旬から2月に来るはずの寒波が12月に到来し、例年であれば1、2月に購買される商品の動きがよかった。今月好調だった分、その反動で1、2月は落ち込む。
	スーパー（店長）	・寒さの影響で衣料品を中心に、冬物商品がかなり売れている。青果も単価の動きで、相場が高くなっているので期待できる。
	スーパー（総務担当）	・食品については過去数か月伸びてきているが、衣料品、住居用品については、気温の変化に左右されることが大きい。
	スーパー（経理担当）	・地域内での競合店の出店が活発になってきており、個人景気はある程度維持されるが、業界としてはパイの取り合いになる。
	コンビニ（エリア担当）	・ボーナス後で消費者はお金を持っているにもかかわらず、必要なもの以外は買わない傾向が強い。
	衣料品専門店（店長）	・必要なもの以外は買わないというスタンスが変わらない。
	衣料品専門店（店員）	・買い控えが長かったせいか、客の購買意欲は高まっている。あとは商品の充実、価格帯の工夫、いろいろなイベント等を組むことで、何とか数字は稼いでいける状況になってきた。
	乗用車販売店（従業員）	・トラックの受注台数が増えない。
	一般レストラン（スタッフ）	・来客数の割に、売上が今一つ伸びていない。
	旅行代理店（従業員）	・1、2月の予約が前年を下回る。
	タクシー運転手	・ボーナスも出ており、仕事の状況がだんだん良くなってきているという、客の明るい話を聞くようになった。
通信会社（業務担当）	・1月は例年、初売り後に売上が大きく落ち込むが、今年はさらに商品の価格の上げどまりと新商品の一時停滞期により、2、3月の需要期を前に販売数はそれほど伸びない。	
設計事務所（代表取締役）	・耐震構造偽造問題でマンション販売は、顧客が購入に慎重になることから、多少なりとも影響がある。公共工事は、予算措置が抑えられている状況が続いている。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・郊外の大形店が好調で、中心市街地の商店街の客足が上向かない。
	商店街（代表者）	・気候的にだんだん悪くなっており、来客数がますます悪くなっている。
	商店街（代表者）	・商店街唯一のスーパーが破産し、空き店舗も埋まらないため、来街者が少なくなる。
	スーパー（企画担当）	・長期天気予報では2月、3月の気温は平年並みか高めの予報となっており、年末年始の旅行や高級品購入等による家計出費の反動により、鍋物商材を中心に動きが鈍くなる。また、バレンタインデーやホワイトデー、新入学や新生活関連商材へ個人・家計消費が流れるため、食品中心のスーパーとしては現時点よりも多少苦戦を強いられる。
	衣料品専門店（店長）	・相変わらず郊外店の出店ラッシュが止まらず、商店街から客が消えている。
	衣料品専門店（店員）	・12月が好調だった分、1月のセール売上が厳しい。
	住関連専門店（経営者）	・今年前半は順調に推移したように思われたが、後半に売上げが低迷し、秋口には同地区にあるメーカーの倒産等もあり、先行きは厳しい。
	高級レストラン（経営者）	・年明けからの予約がほとんど入っていない。従来はこんなことはなかった。
	一般レストラン（スタッフ）	・3、4月の予約がまだ入ってきておらず、ブライダルの予約もまだ少ない。

		タクシー運転手	・年々新年会等も減っており、空港の人の動きは良いがタクシー量は減っている。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税関係、景気対策の先行きが非常に不透明であるので、住宅関係はますます厳しくなる。ただし周辺部のマンション等については、値段等で売れる場合がある。
	悪くなる	一般小売店〔青果〕（店長）	・高齢の客が多いため、年金が減り、医療費が上がるという2つの大きな問題で、客の財布のひもが固くなっている。
		理容室（経営者）	・例年で行くと12月が良く、1、2月は悪くなるが、今年は12月も悪いので、それより良くなるとは考えにくい。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	家具製造業（従業員）	・商業施設の新規建築やマンション需要が、まだまだおう盛である。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・1～3月の売上予定高及び取引先との商談の状況が良く、景気は回復してくる。
		鉄鋼業（経営者）	・販売価格が若干ではあるが、上昇する兆しが見え始めた。また1月～3月にかけて大型物件の建設が開始されることが確定し、需要が堅調に推移する。
		建設業（総務担当）	・新八代 - 博多間の九州新幹線の工事続くため、良くなる。
		輸送業（従業員）	・取扱量は増えてきたが、軽油値上がり分の運賃転嫁が難しく、業界としては厳しい経営状況にある。
		通信業（経理担当）	・消費の伸びもあるが、デフレ脱却も見えてきており、大企業も好調さが持続しているようである。株価も前年比40%アップと新聞紙上に出ており、3月くらいまではこの好調さが続くが、燃料代の上昇は今後、若干影響してくる。
		金融業（営業担当）	・融資先の業種に関わらず、前年よりも売上及び販売量が増えてきている傾向にあるため、今後も良くなっていく。
		不動産業（従業員）	・マンションの販売状況が引き続き、好調に推移している。
		広告代理店（従業員）	・12月は歳末商戦になるが、今年は寒波の襲来で家電量販店や遊技場などが順調に増加した。ポ・ナスが例年以上に支給された影響もあり、消費が活性化し、チラシの受注も前年比108%と伸びた。
		農林水産業（経営者）	・例年12月はあまり期待できないが、12月のように冷え込みが厳しくなると冬物の食材が期待できる。未解決である茨城の鳥インフルエンザが、消費者にどれだけ影響を与えるかが懸念される。
		食料品製造業（経営者）	・得意先の状況から判断すると、客数の漸減と客単価の低迷は今後も継続する。景気が順調に回復しているとはいうものの、それを実感するには程遠く、来年に向けての期待感も薄れがちである。目新しい好転の材料に乏しく、大きな変化はない。
		繊維工業（営業担当）	・メーカーや取引先、工場の動きや受注がこう着状態である。しかし、取引先が固定されてきた。
		一般機械器具製造業（経営者）	・1、2か月先に仕事の話はあるが、その時期に受注できるのかどうかは、流動的である。現状より改善はしない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連のリードフレームや電子部品のコネクタ関連、精密機械部品等の動きが非常に活発になってきており、12月と同じような状況で1、2月も推移する。
輸送用機械器具製造業（営業担当）	・採算の合わない仕事ばかりで、大変厳しい状況である。		
建設業（従業員）	・建設業は、景気が良くなっても需要と供給のバランスが悪く、数多くの競争相手もいて仕事を確保していくのがなかなか困難である。公共工事の予算も年々減少の一途をたどっており、良くても現状維持しかできない。		
輸送業（従業員）	・1月は例年荷動きがかなり落ち込むところであるが、ある程度例月どおりの荷動きは期待できる。		
輸送業（総務担当）	・後半に冬物衣料品が動いたが、全体を見ると荷動きは増えていない。値下げの要請も非常に強く、しばらくは現状維持である。		
金融業（得意先担当）	・当面、資金需要の上向きは考えられないことから、今後しばらくは現状維持である。		
経営コンサルタント	・2005年の後半がかなり良かっただけに、このまま一本調子で上がるとは考えにくい。この調子で春先くらいまでは移行できる。		
やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・牛肉の輸入自由化の影響を受けて、やや悪くなる。	
	建設業（総務担当）	・年内完成引渡しの工事を終えたが、新たな年が来ても新規着工の案件が一つしかなく、先々非常に厳しい様相である。	

	悪くなる	農林水産業（従業者）	・暖冬予想が12月初頭より厳しい寒さとなり、年明けもこの寒さが続く見通しであるので、消費性向が焼肉より鍋物中心に動いている。このため白菜など葉物を中心に価格が上昇しているが、焼肉材であるピーマン等の価格回復は見込みが薄い。
		金融業（調査担当）	・自動車の新車販売台数が落ち込んでいる。
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関（支店長）	・年末年始需要に加え、年度末・新年度の商談が既に始まった。ただし、価格上昇までは期待できない。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・雇用状況は3月くらいまで、先行きの依頼を企業が決めているケースが多い。
		新聞社 [求人広告] （担当者）	・空港開港が近づき、さらに自動車工場、関連企業の進出が見込まれるため、求人広告は増える。
		職業安定所（職員）	・非正規社員の求人が全体の5割を占めており、見かけほど雇用環境は改善していない。ただし、ここ数年の採用控えや大量定年への対応等から、新卒や中途採用に積極的になりつつある企業の採用動向もうかがえる。
	職業安定所（職員）	・5月以降0.6倍台にあった有効求人倍率が、0.7倍台に回復した。	
変わらない		人材派遣会社（社員）	・最近首都圏の派遣のオーダーが純化傾向にあるが、地方では、わずかながら微増の方向にある。
		民間職業紹介機関（職員）	・9月以降、職種にかかわらず中堅クラスのオーダーが急増しており、企業も若手から中堅まで幅広く採用を行い、戦力の底上げを狙った採用に変化しつつある。
やや悪くなる		求人情報誌製作会社 （編集者）	・現在、求人は人材派遣業が軸になっている。福岡地方ではここ2年の間に大手のコールセンターが次々でき、フリーターの雇用を吸収している。これが、人材派遣業全体の採用活動に影響している。業界の競争が激化し、賃金の低下を招いているところに、あいまってコールセンターの求人が活発になることで、業界の採用が難しくなっている。
		新聞社 [求人広告] （担当者）	・地元大手建設業者倒産の影響で取引先、関連企業などへの影響が見込まれ、雇用面でもマイナスの影響が想定される。
		職業安定所（職員）	・冬に入り、石油製品の需要が高まり、同製品の高騰が全産業的に影響を及ぼす。
	悪くなる	-	-